

校区編成についての意見

27.1.27
受取印

- 転校することが分かっているなら初めから岡部小学校に入学させてほしい。
中学生へ進学するだけでも環境が変わつて負担がかかるのに、子供たちの精神的負担が大きすぎる。
- 教育現場の人がどれ程負担になるのか分かっていると思う。
- 学年ごとで見ると、中野本町だけでは各学年の人数は少ないので、受け入れてほしい。
- 近くなつて良いと思う人もいるかもしないので、せめて選択制にしてほしい。
- 四條畷小学校は移転なのか廃校なのか、はっきり分からぬ。
- 育成会として市側と話し合つてほしい。
- 転校するかは2年でも3年でも選択制にすべき。3年生だけ許可される理由が分からぬ。
今後最低10年くらいは入学する際、希望すれば曇中に入学できるようにすべき。
- 中野本町でも場所によつていろいろな意見があると思うので、選択制にするのが良いと思う。
- 兄弟は同じ学校を卒業させたい。
- 途中での転校は嫌だが、入学時から新校区で対応すると兄弟が別々の小学校になり困る。
どこかで線引きは必要と思うが、話し合いがきちんとされておらず、もっと話し合うべき。
- 家を購入する際、校区は重要なポイント。少人数でもなく統合や廃校等の話が全くなかつた「曇小・曇中」校区を選んだのに、急に変更となり「岡部小・西中」というのは困る。
- 9年間（小・中学）同じ友達（2小学から1中学へ）が望ましいという趣旨なのに、中野本町はそれに反している。曇小から西中へいくのは少人数で、急にみんなと違う中学になるのは子供も嫌がつている。
- 中野本町でも北東に位置する所にとって、西中は近くない。
- 案が出てから決定しようとする期間は短すぎる。自治会長の意見はみんなの総意ではない。案内が不十分。
まちづくりフォーラムで教育長が「子供たちが一番大事」と言っていたが、子供たちへの配慮が足りない。
仲の良い友達と学校が分かれることになり、子供がかわいそう。
- 学校が変われば校風も変わるため、多感な時期の子供には負担が大きすぎる。
- 学校が近くなつて良い。
- 子供は大人が思う以上に順応力があるので大丈夫だと思う。
- いつか校区編成の時期が来るのなら、私たちが犠牲になるのは仕方がない。
- 校区編成は仕方がないが、もう少し子供の気持ちに寄り添った措置を取ることはできないのか。
- 一番の思春期に知らない子ばかりの中学生へ行かせたくない。馴染めなかつたら誰が責任を取るのか。
- 中学生は多感な時期で、むやみに校区を変えるのは反対。
- 四條畷小学校・四條畷中学校の校区だからここに住んでいい。
- 転校は友人関係だけでなく、部活などにも影響があると思う。
- 人數的なことだけでなく、子供の「心の面」を十分配慮してもらいたい。
- 四條畷小学校卒業生として、四條畷小学校が廃校になるのは反対。歴史ある小学校を潰すのは理解できない。
なぜ2020年が目途なのか。
- 中学卒業まで、校区が変わらないと思っていたのでショック。今まで四條畷中学校に行けたら良いのと思つう。
- 四條畷小学校がなくなるのは反対。
- もし転校が決まり、新しい環境になつたとしてもイジメや登校拒否等々になつた時、誰がどう責任を取つてくれるのか。簡単に校区を変えるのは反対。
- なぜ子供たちの意見（気持ち）を一度もアンケートなりで聞いてくれないのか。
- 学校に行くのは子供たちであり、大人ではない。まず子供たちの意見（心の内）を聞いてほしい。
- 中3の大事な時期に、中学を選択すること自体ナンセンスだと思う。
- 中学の多感な時期で途中から転校して、友達関係などうまくいくのか疑問。
- 今回の市の提案には賛同できない。